

総合計画前期計画点検シート

専門部会名 都市基盤整備部会 担当部局名 工務課

| | |
|--|---|
| 基本目標 | 自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり |
| 主要施策名 | 上水道・簡易水道の整備 |
| <p style="text-align: center;">施策の基本的な 考え方</p> <p>(総計記載事項を要約して記入してください。)</p> | <p>安全・安心でおいしい水道水の安定供給と、水道未普及地域の解消を図るため、上水道第2期拡張事業や配水管網整備事業をはじめとした上水道・簡易水道の整備をすすめます。</p> <p>また、健全経営を維持するため、有収率の向上に努めるとともに、耐震性に優れた施設の整備を図っていきます。</p> |
| 前期計画の取組状況 | <p>1. 安定供給の確保</p> <p>1-1 水道水源の確保</p> <p>合併を機に上水道と簡易水道の統合を図り、また、給水区域の拡大を行うため、平成35年を目標に計画1日最大給水量を11,740 m³(既存10,200 m³)とした事業変更認可を取得し第2期拡張事業を計画、それに伴い不足する水源をサンルダムに依存することとしています。</p> <p>1-2 給水区域の包括・統合の実施</p> <p>名寄市上水道の給水区域を日進地区、中名寄地区に拡大し、風連中央地区の簡易水道を名寄市上水道の給水区域に統合し、さらに川西地区の簡易水道をソフト統合(水源は現状のまま)してきています。</p> <p>1-3 浄水場の機能向上・維持改修</p> <p>浄水施設のPAC・次亜移送ポンプの取替、沈殿池傾斜板(北側)の取替等を実施してきています。</p> <p>1-4 安定供給能力向上の推進</p> <p>1-5 配水管網整備の推進</p> <p>道路改良に伴う配水管の敷設を行うことにより、生活環境の整備、未利用者への普及を行ってきました。また、老朽管(40年経年管及びTS継手管)の更新を行い、漏水事故、濁水の発生を抑制し耐震性を向上させることで良質な水道水の安定供給の確保を行ってきました。</p> <p>2. 水質の向上</p> <p>2-1 水質向上策の検討</p> <p>2-2 水質観視体制の強化</p> <p>安全・安心でおいしい水道水を安定して供給するために、浄水施設の適正な管理と、水道水源の水質保全保持のために河川上流区域の水質汚染源調査、監視の強化を行ってきました。</p> |

| | 主な前期事業（当初） | 主な前期事業（実績）単位：千円 |
|---|--|--|
| | 別紙による No.186 水源開発事業 No.187 配水管網整備事業 No.188 上水道第2期拡張事業 No.189 老朽管更新事業 No.190 緑丘浄水場・取水施設改修事業 No.191 水質検査機器更新事業 | 別紙による No.186 水源開発事業 No.187 配水管網整備事業 No.188 上水道第2期拡張事業 No.189 老朽管更新事業 No.190 緑丘浄水場・取水施設改修事業 No.191 水質検査機器更新事業 |
| 前期計画の成果と課題 | <p>サンルダムにつきましては、国政の政権交代があり新政権によるダム建設凍結の方針から、建設着工の見通しがついていない状況にあります。水道事業を経営していく中での水源確保は大きな課題であるため、推移を注意深く見ながら対処していかねばならないと考えています。</p> <p>第2期拡張事業につきましては、名寄地区の配水管整備に着手し、風連地区への送水管の着手を予定していましたが、サンルダム凍結の影響で中断となっています。</p> <p>配水管網整備事業につきましては、道路改良工事に伴い予定されている箇所についての整備は終了しているところです。今後も計画どおり遂行することが必要と考えます。</p> <p>老朽管更新事業につきましては、老朽管対策（耐震化）に補助制度が新設され、その制度を利用して更新計画の進捗率をあげていくことができることとなりましたので、計画的な財源運用を含めて事業推進を図っていく必要があると考えています。</p> <p>浄水場施設改修事業につきましては、計画通りの進捗となっています。</p> <p>水質検査機器更新事業につきましては、水道水の安全性を確保するために監視体制を維持することは必要不可欠です。また、名寄市の水道事業、下水道事業はもとより、近隣市町村を含めた広域的な検査体制の強化を進める必要があります。</p> | |
| 後期計画の考え方 （前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項など記載してください。） | <p>安全でおいしい水道水を安定して供給するため、水源の確保、耐震化に重点をおいた老朽管の更新、管網の整備を実施し漏水調査業務と連携し、さらなる有収率の向上をめざしていく必要があります。</p> <p>また、安全な水道水を継続して確保するために、浄水施設、水質検査機器の更新は重要な課題となってきています。</p> <p>簡易水道事業では、上水道への統合を推進して経営基盤の強化と併せ、水道未普及地域の解消と、水量・水質の安定を図っていく必要があります。</p> | |

※ 各項目は簡潔に記入してください。

※ 取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※ 主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。

別紙 新名寄市総合計画と平成23年度予算時における進捗状況(上水道事業)

(単位:千円)

| NO | 事業名 | | 事業内容 | 19~23 | 19~22実績 | 23予算 | 前期進捗率 | 24~28 | 後期進捗率 |
|-----|----------------|--------|------------------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 186 | 水源開発事業 | 当初 | 水利者負担額 371,000千円 | 162,400 | 32,998 | 4,960 | 23.37 | 51,036 | |
| | | ローリング後 | 水利者負担額 239,162千円 | 37,966 | | | 99.98 | 43,630 | 85.49 |
| 187 | 配水管網整備事業 | 当初 | L=9,180m | 75,000 | 82,401 | 27,000 | 145.87 | 75,000 | |
| | | ローリング後 | L=10,081m | 105,401 | | | 103.80 | 94,500 | 126.00 |
| 188 | 上水道第2期拡張事業 | 当初 | L=27,850m | 237,600 | 18,463 | 23,000 | 17.45 | 961,444 | |
| | | ローリング後 | L=15,233m | 41,463 | | | 100.00 | 562,700 | 58.53 |
| 189 | 老朽管更新事業 | 当初 | L=5,485m | 143,200 | 194,041 | 127,000 | 224.19 | 114,500 | |
| | | ローリング後 | L=26,607m | 308,136 | | | 104.19 | 494,000 | 431.44 |
| 190 | 緑丘浄水場・取水施設改修事業 | 当初 | | 0 | 23,947 | 23,100 | 皆増 | 0 | |
| | | ローリング後 | 1拡沈殿池傾斜盤等 | 60,088 | | | 78.30 | 51,387 | 皆増 |
| 191 | 水質検査機器更新事業 | 当初 | | 0 | 0 | 36,750 | 皆増 | 0 | |
| | | ローリング後 | GC-MS更新 | 36,750 | | | 100.00 | 57,000 | 皆増 |

総合計画前期計画点検シート

専門部会名 都市基盤整備部会 担当部局名 工務課

| | | |
|---|--|--|
| 基本目標 | 自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり | |
| 主要施策名 | 下水道・個別排水の整備 | |
| 施策の基本的な考え方 (総計記載事項を要約して記入してください。) | 下水道施設、個別排水処理施設の整備と更新を計画的に推進するとともに、下水道施設の効率的な維持管理を実施し、清潔で快適な生活環境の保全に努めます。 | |
| 前期計画の取組状況 | 公共下水道の処理人口普及率は、85.8%の進捗率となっており、面積の整備率は81%で990haの整備が済んでいます。また、昭和55年の供用開始以来稼働している終末処理場の機器の更新に着手し、順調に進捗してきています。 個別排水処理施設整備事業(合併浄化槽)については、郊外、農村地区において、424戸の供用を開始しています。 | |
| | 主な前期事業(当初) 単位:千円 | 主な前期事業(実績) 単位:千円 |
| | 別紙による No.192 公共下水道整備事業 No.193 個別排水処理施設整備事業 No.194 下水処理場設備機器更新事業 | 別紙による No.192 公共下水道整備事業 No.193 個別排水処理施設整備事業 No.194 下水処理場設備機器更新事業 |
| 前期計画の成果と課題 | 終末処理場における機器の更新事業は順調に進捗しています。今後も計画どおり遂行することで、清潔で快適な生活環境の保全が図られます。 個別排水処理施設整備事業において、予定数量より多くの設置がなされました。このことは生活排水を適切に処理し放流することにより、公共用水域の保全と生活環境の改善につながるものであり、今後も公共下水道未整備地区における普及・促進が望まれます。 | |
| 後期計画の考え方 (前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項など記載してください。) | 1. 施設の整備 終末処理場における機器の更新事業は計画的に実施することが不可欠と考えます。下水道管渠における老朽化対策、徳田地区の人口増加に伴う整備計画の見直しを行う必要があります。そのために長寿命化計画の策定が不可欠となってきます。 2. 施設の維持管理 大雨時における下水道管渠への侵入水対策が課題となってきています。 | |

| | |
|--|---|
| | <p>計画的な対応を実施してまいります。</p> <p>3. 資源の有効活用 汚泥資源の利用活用を継続して実施してまいります。</p> <p>4. 合併浄化槽の設置 個別排水処理施設整備事業においては、「名寄市生活排水処理基本計画」(平成 18 年 12 月策定)に基づき、公共下水道未整備地区への普及・促進により、生活排水を適切に処理することによって、公共水域の保全と生活環境の改善向上を目指してまいります。</p> |
|--|---|

※ 各項目は簡潔に記入してください。

※ 取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※ 主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。

別紙 新名寄市総合計画と平成23年度予算時における進捗状況(下水道事業・個別排水事業)

(単位:千円)

| NO | 事業名 | | 事業内容 | 19~23 | 19~22実績 | 23予算 | 前期進捗率 | 24~28 | 後期進捗率 |
|-----|--------------|--------|-----------------|-----------|-----------|---------|--------|-----------|--------|
| 192 | 公共下水道整備事業 | 当初 | 受変電設備・ボイラー更新等 | 1,790,000 | 1,584,779 | 273,721 | 103.83 | 720,000 | |
| | | ローリング後 | 受変電設備・ボイラー更新等 | 1,842,170 | | | 100.89 | 1,116,000 | 155.00 |
| 193 | 個別排水処理施設整備事業 | 当初 | 19~23 50基 | 82,500 | 78,894 | 16,450 | 115.57 | 82,940 | |
| | | ローリング後 | 19~23 64基 | 92,009 | | | 103.62 | 73,431 | 88.54 |
| 194 | 下水処理場機器修繕事業 | 当初 | 雨水ポンプ原動機点検他修繕5件 | 103,500 | 75,536 | 20,000 | 92.31 | 139,000 | |
| | | ローリング後 | 雨水ポンプ原動機点検他修繕5件 | 95,536 | | | 100.00 | 139,000 | 100.00 |

総合計画前期計画点検シート

専門部会名：都市基盤整備 担当部局名：建設水道部都市建築課

| | | |
|--|---|----------------------------------|
| 基本目標 | 自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり | |
| 主要施策名 | 都市環境の整備 | |
| 施策の基本的な考え方 (総計記載事項を要約して記入してください。) | 少子高齢化や市街地の空洞化などの環境の変化に対応するため、将来の市街地のあり方を総合的に検討した都市計画を策定し都市整備事業等によりまちづくりを進めます。 | |
| 前期計画の取組状況 | 風連地区の市街地整備は平成16年度から事業実施を見込んだ中心市街地活性化基本計画、市街地総合再生基本計画の策定、関連する都市計画決定のほか、国土交通省事業認可を得るとともに、平成19年度から北海道知事認可を経て事業化に着手してきました。 | |
| | 名寄地区の市街地整備計画は、平成19年度から実施してきた中心市街地活性基本計画(案)をもとに平成21年度に国土交通省所管都市再生整備計画として策定し、国土交通省の認可を経て平成22年度から事業に着手している。 | |
| | 主な前期事業(当初) | 主な前期事業(実績) |
| | 風連地区第一種市街地再開発事業 | 風連地区第一種市街地再開発事業 都市再生整備計画なよろ地区 |
| 前期計画の成果と課題 | 風連地区市街地中心部に国土交通省所管、風連地区第一種市街地再開発事業をはじめ、市街地内市道の歩道および街区公園のリニューアル、街路灯の新設、老朽化した公共施設の除却により市街地のイメージの改善を行った。 | |
| | 名寄地区における事業については、(仮称)複合交通センター整備、3-6地区市街地再開発事業、文化ホール建設事業をはじめとする市街地中心部の魅力を高める事業を効果的に配置しているが、市民意見を多く取り入れるためには、計画を効率的に進めていくことが急務である。 | |
| 後期計画の考え方 (前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項など記載してください。) | 名寄地区の都市再生整備計画において推進する事業は、市街地内における公共施設の新設や民間施設のリニューアルを中心とする事業で構成されているが、事業化を構築する段階で市街地のイメージアップも可能とするものである。 | |
| | また、本事業は平成22年度から26年度の間で事業認可を取得していることから、計画的に事業を推進していく必要がある。 | |

※ 各項目は簡潔に記入してください。

※ 取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※ 主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。

別紙 新名寄市総合計画と平成23年度予算時における進捗状況(市街地再開発事業)

(単位:千円)

| NO | 事業名 | | 事業内容 | 19~23 | 19~22実績 | 23予算 | 前期進捗率 | 24~28 | 後期進捗率 |
|----|------------|--------|---------------------------------|-----------|-----------|------|--------|-------|-------|
| | 市街地再開発事業 ① | 当初 | 調査、設計、補償、除却、換地諸費 | 1,062,400 | 1,095,080 | 0 | 103.08 | 0 | |
| | | ローリング後 | 調査、設計、補償、除却、換地諸費 | 1,095,080 | | | 100.00 | 0 | 0.00 |
| | 市街地再開発事業 ② | 当初 | 多目的ホールRC造4階建 生活者総合支援施設RC造3階建 | 809,600 | 1,106,900 | 0 | 136.72 | 0 | |
| | | ローリング後 | 多目的ホールRC造4階建 生活者総合支援施設RC造3階建 | 1,106,900 | | | 100.00 | 0 | 0.00 |